

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

12月4日～10日は

人権週間

12月4日(水)～10日(火)は人権週間です。この機会に改めて人権について考えてみましょう。

今回は、本市が今年6月に加盟した平和首長会議の会長である広島市長の松井一實さんから「平和」をテーマに寄稿していただきました。

世界恒久平和の実現に向けて

平和首長会議会長 松井 一實さん寄稿
広島市長

◆厳しい現実

昭和20年8月6日、人類史上初めて広島に原子爆弾が投下され、街は焦土と化し、多くの人々の命や日常生活が奪われました。そして、心身に悪影響を及ぼす放射線は、今なお被爆者に様々な苦しみを与え続けています。

ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の悪化といった厳しい世界情勢により、国家間の疑心暗鬼はますます深まっています。他国より優位に立ち続けるための核戦力

を含む軍拡競争が続き、世論においても武力に頼らざるを得ないという考えが強まっていけば、平和な世界の実現は遠のくばかりです。

このような状況だからこそ、市民社会が決意と希望を胸に心を一つにして行動を起こし、核抑止力に依存する為政者に政策転換を促すことが重要となります。

◆平和意識の高まり

昨年5月のG7広島サミットでは、各国首脳による平和記念資料館の視察や被爆者との対話が実現し、



まつい・かずみ 広島市出身。京都大学法学部卒業。労働省(現厚生労働省)に入省し、在英大使館一等書記官、婦人局婦人労働課長、厚生労働省大臣官房総務課長、厚生労働省大臣官房総括審議官(国際担当)、中央労働委員会事務局長などを歴任。平成23年から現職(現在4期目)。

こうした被爆の実相に直接触れていただいた上で、それぞれの平和への思いを芳名録に残されました。また、原爆死没者慰霊碑参拝の際には、私から直接、各国首脳に碑文=写真=について説明する機会があり、碑文



に込められた思い、すなわち過去の悲しみに耐え、憎しみを乗り越えて、全人類の共存と繁栄を願い、真の世界平和を祈念する「ヒロシマの心」をしっかりと受け止めていただいたところです。こうした中、昨年度、広島平和記念資料館には世界中から過去最多となる198万人を超える人々が訪れました。これは、かつてないほど被爆地広島への関心、平和への意識が高まっている証しとも言えます。ヒロシマの平和への願いの原点は「こんな思いは他の誰にもさせてはならない」という被爆者の切なる願いです。

◆平和首長会議の活動

平和首長会議は、昭和57年に設立し、現在では世界166カ国・地域の8400を超える都市が加盟する国際的な平和都市のネットワークで、八幡市には今年6月に加盟していただき、日本国内の加盟率は99.9%となりました。加盟都市相互の緊密な連帯を通じて核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起するとともに、人類の共存を脅かす飢餓・貧困等の諸問題の解消、さらには難民問題、人権問題の解決および環境保護のために努力し、もって世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。

被爆者の平和への願いを原点に「核兵器のない世界の実現」「安全で活力のある都市の実現」「平和文化の振興」を目標に掲げ、世界中の加盟都市とともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指した活動を続けております。とりわけ、市民一人一人が日常生活の中で平和について考え、行動する「平和文化」を市

平和文化の振興が目指す究極の目標

「平和文化」を振興

市民社会における
平和意識の醸成

世界平和の
創造に向けた
国際世論の醸成

核抑止力に
依拠しない
外交政策の実現

核兵器のない
真に平和な世界

為政者の政策転換を後押しする大きな潮流を形成

民社会に根付かせ、平和意識を醸成していく「平和文化の振興」は、市民に最も身近な存在である自治体の首長により構成される平和首長会議が、これから担っていくべき重要な役割であると考えています。

引き続き、市民社会の平和意識の醸成に一層取り組み、「平和文化」に満ちた世界を創ることで、核抑止力に依存する為政者に対話による平和的解決に向けた外交政策への転換を促していきます。

◆平和な世界を実現するために

争いを生み出す疑心暗鬼を消し去るために、今私たちができること

は、他者を思いやる気持ちを持って交流し、対話することで「信頼の輪」を育み、日常生活の中で実感できる「安心の輪」を、国境を越えて広めていくことです。そこで重要になるのは、音楽や美術、スポーツなどを通じた交流によって他者の経験や価値観を共有し、共感し合うことです。こうした活動を通じて「平和文化」を共有できる世界を創っていきましょう。

市民が幸せに生活するために平和を願い、その平和を実現するために自らできることを考えて行動することの提案までは行政が行えるとしても、その実践の主体は市民一人一人です。市民が主体となり、平和のた

めに自らできることを実践し、その実践を積み重ねることが、必ずや世界の為政者を平和へと突き動かす原動力となり、自らが幸せに暮らすための平和を享受することにつながると思います。

来年は被爆80周年です。戦争体験者や被爆者の高齢化がより一層進行している現状を踏まえると、特に次代を担う若い世代の皆さんには、ぜひ被爆地広島・長崎を訪れ、被爆の実相に触れていただくとともに、幅広い年代の人たちと「友好の輪」を創り、今自分たちにできることは何かを考え、ともに行動し「希望の輪」を広げていただきたいと思います。

固人権政策課 (☎981-3127)

日本語指導ボランティア
スキルアップ講座 受講者募集
未経験者大歓迎



京都にはんごRingsの皆さんを講師に迎え、外国人住民の日本語学習を支援する日本語指導ボランティアスキルアップ講座を開催します。

■日時 令和7年1月11日(土)
午後1時30分～4時30分
■場所 松花堂庭園・美術館講習室
■定員 25人程度
■対象者 日本語指導ボランティアとして活動している人、または興味がある人

■内容 日本語学習支援の1・2・3
～基礎知識を学ぼう～
■左記のQRコードを読み込み、必要事項を入力し、12月9日(月)～20日(金)に送信、または電話

固市民協働推進課 (☎983-5749)